

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社オカムラ（証券コード:7994）

### 【見直し変更】

長期発行体格付 A  
格付の見直し 安定的 → ポジティブ

### 【据置】

債券格付 A

### ■格付事由

- オフィス家具の最大手メーカー。オフィス家具の製造販売を行うオフィス環境事業が主力であり、ニーズを捉えた製品開発に加え、オフィスの計画立案から施工までの総合的な提案力に強みを持つ。その他、小売店向け陳列棚や冷凍冷蔵ショーケースを扱う商環境事業、物流機器などの製造販売を行う物流システム事業を手掛ける。中期経営計画（24/3期～26/3期）では「需要創出型企業」への変革を掲げ、積極的に戦略投資を推進している。
- 収益力の向上が進んでいる。オフィス環境事業ではハイブリッドワークや人材確保に向けたオフィスのリニューアル需要を、商環境事業では店舗競争力強化に向けた改装需要などを着実に取り込んでいる。今後もこのような需要が継続するとみられる中、顧客ニーズを捉えた提案営業のさらなる強化などにより、業績は堅調に推移していくと予想される。財務構成は良好である。設備投資額は増加傾向にあるが、キャッシュフロー創出力の向上を背景に今後も財務基盤の強化が進むとみられる。以上を勘案し、格付は据え置き、見直しをポジティブに変更した。オフィス環境事業を中心とした業績推移を確認しつつ、格付に反映させていく。
- 24/3期の営業利益は240億円（前期比38.4%増）と5期連続で過去最高益を更新した。オフィス環境事業が堅調に推移したほか、価格転嫁の浸透などから採算改善が進んだ商環境事業および物流システム事業が利益を押し上げた。25/3期も250億円（同4.0%増）と増益の計画である。各事業における需要の取り込みなどが寄与するとみられる。今後の更なる収益力向上に向けて、オフィス環境事業では新たなワークスタイルの提案や新製品の拡充などを進める方針である。また、商環境事業では店舗デザインや内装領域の強化、物流システム事業ではロボットを活用した物流システム機器の能力汎用性向上などに取り組む計画であり、これらの施策を着実に推進していくことが重要とみられる。
- 24/3期末の自己資本比率は61.1%（前期末59.6%）と良好な水準を維持している。また、長期にわたり実質無借金状態が続いている。近年の設備投資は22/3期以降増加傾向にあるが、フリーキャッシュフローはプラスで推移している。中期経営計画では維持更新投資200億円に加え、戦略投資枠500億円を設定しており、今後も既存事業の強化や生産性改善などに向けて積極的に投資を実施する計画である。ただ、キャッシュフロー創出力が高まっていることや利益蓄積による自己資本の増加も見込まれることから、現状の良好な財務構成が損なわれる懸念は小さいとJCRでは考えている。

（担当）大塚 浩芳・金井 舞

### ■格付対象

発行体：株式会社オカムラ

### 【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A	ポジティブ

### 【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2019年6月20日	2024年6月20日	0.180%	A
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティ・リンク・ボンド）	50億円	2022年6月16日	2027年6月16日	0.390%	A

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2024年5月23日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：大塚 浩芳
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年2月1日）として掲載している。
- 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 株式会社オカムラ
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル